

全集・叢書細目検索ツール

沢西良子

I はじめに

当館参考書誌部一般参考課は、書誌サービスの一環として、四ヶ年計画で『全集・叢書細目総覧』を刊行することになった。刊行計画の概要は第1巻 古典編（古代より江戸末までの部）＜46年度刊行予定＞第2巻 現代編（明治以降の部）、第3巻 外国編 第4巻 索引編の4分冊より成り明治以降、昭和45年12月末までに、日本で刊行された全集・叢書の細目約6万タイトルを収録の予定である。この全集・叢書の称は、単行本の対語で『広辞苑』ではつぎのように定義している。¹⁾

全集 或る人のすべての著作を集めた書物。また、同種類あるいは或る時代の著作を多く集めた書物。

叢書 ① 種々の書物を集めて一大部冊としたもの。② 一定の形式に従って継続して刊行される出版物。双書。シリーズ。

近年は学術・文化の進展が、それらの細分化と同時に総合化をも押しすすめ、出版事情をますます複雑にしている。図書館における全集・叢書類の検索についても、既成のツールでは不十分な場合があり、より適切なレファレンス業務の遂行のために、新しいツールの企画が要望されてきた。

元来、閲覧目録（著者書名目録）は、「必要な場合」に分出し、あるいは「必要に応じて」叢書名を副出することになっている。²⁾

しかし、当館は、100%完璧でないにしろ、ほぼ理想どおりに分出の行なわれていた戦前

の『帝国図書館和漢書書名目録』という所産を継承しながら、昭和23年以降の閲覧目録については、分出作業を行なわないで今日に至った。³⁾ この分出、あるいは副出の実施は、完全は望めないとしても、利用の実態に即応できるような目録類を作成して、利用者の要求にこたえるべきであることは当然であった。かねてから館内関係者の苦慮するところであるが、ごく小部分についての実施を今年中に予定している以外は、実現のめどは立っていない。

今回の『全集・叢書細目総覧』の企画は、その資料検索の不足を少しでも補い、有用な目録検索のツールとなり得るものと思う。

国書全集・叢書の検索ツールには全集・叢書明細目録（細目を明示した叢書別一覧）と全集・叢書索引（所収文献の五十音順等による一覧）との二種に分けられ、前者は、全集・叢書の内容を知るためのものであり、後者は文献の所収追求に便という、それぞれ目的を異にしている。この二種を兼ねているが如きものもあるが、それも前二者のいずれかに重点が置かれていると見てよいであろう。今回の作業をはじめるとあたり、既成の関係文献を当館蔵書によって調査したので、その紹介をし解題を行うこととする。カッコ内は当館請求番号。

II 全集・叢書明細目録（刊行順）

1) 垂水延秀

第四高等学校和漢叢書細目 大正12年末現在

金沢 第四高等学校 大正13年 594p
(317—148)

第四高等学校所蔵の和漢叢書約335タイトル(うち漢籍叢書は約60タイトル)の細目(約15,000タイトル)の叢書別一覧。巻頭に「叢書名索引目録」、本文は本邦、支那に分け(桂湖村の分類による)、巻末に「書名索引」(五十音順)を置いてある。国書の叢書の範囲は古典・明治以降の著、翻訳を収める。

2) 浜野知三郎

日本叢書目録 六合館 昭和2 10, 256p
22cm (025.1—H156n)

明治以降、大正末年までに刊行された叢書・類書・全集(江戸期刊本、写本も若干含む)等約700タイトルの内容細目(約20,000タイトル)の叢書別一覧。

書名の排列は順序不同であるが、巻頭の「叢書目録索引」(五十音順による叢書名一覧)によって検索できる。江戸時代の板本叢書・複製本叢書・漢文叢書は含んでいるが、翻訳もの全集は除いてある。

この目録は、大正15年増訂改版の『国書解題』佐村八郎 六合館 (75—48) の下巻巻末に付載として、まず発表されたもの。(臨川書店版『増訂 国書解題』昭和43 複製版 (UP 3—1) あり)

3) 川島五三郎

叢書全集書目 明治大正乃至昭和十年 第1
輯～5輯 東京古書籍商組合 昭和6～11
5冊 22cm (080.31—Ka936s)

第1輯、第2輯 昭和6刊 各40p〔不
分類篇〕約150タイトルを収録。

第3輯 昭和8刊 170p 政治・社会・
法律・経済類篇其一 約400タイトル
を収録。

第4輯 昭和9刊 199p 歴史・考古・
風俗・地誌類篇其一 約500タイトル
を収録。

第5輯 昭和11刊 345p 宗教・哲学・
思想・教育類篇 約650タイトルを収
録。

全集・叢書の外、論文の講座・大系および
重冊書をも含めた叢書毎の内容細目一覧。

巻頭に叢書名一覧(分類別)、および叢書名
索引(五十音順)がある。

4) 古典荘編

明治・大正・昭和全集叢書巻別書名事典 岐
阜 大衆書房 昭和25 165p 18cm
(025.1—Z24k)

全集・叢書・講座など約800タイトルの巻
別明細目録(定価付)。排列は順序不同、細目
を掲出してないものが若干ある。巻頭に叢書
の「索引」(五十音順)あり。範囲は新古東西
網羅的。

5) 遠藤元男・下村富士男

国史文献解説 [正]・続 朝倉書店 昭和32
～40 2冊 (210.031—E63k)

いずれも、第二部の「各時代にわたる叢書
・全集・選集類」に、『旧幕府引継書』(国立
国会図書館蔵)、『楓軒文書集』(内閣文庫蔵)
など写本叢書をも含む史料類の叢書(若干講
座ものを収)約300タイトルを収め、それぞ
れ細目を出してある。本書の性格として、当
然範囲は限定されている。簡単な解説付き。

一部省略があるが、巻末の「主要書目索引」
で細目の検索は一応可能である。

6) 渡辺 茂

綜合史料目録 [函館] 北海道学芸大学函館
分校史学研究室 昭和29 86p 25cm 膳
(210.08—W78s)

新校群書類従、^{新訂}_{増補} 国史大系、日本文学大
系、日本経済大典等、14タイトルの史料叢書
の内容細目の一覧(五十音順)。→『増訂綜合
史料索引』参照

7) 世界名著大事典編集部

全集・双書目録 平凡社 昭和36 <世界名

著大事典 第6巻の巻末付録所収>
(028—Se122—H)

主として明治初期までの国書を収録した叢書(約270タイトル)の細目一覧。収録範囲は国史国文むき。叢書に簡単な解題を付す。

8) 豊島区立豊島図書館

全集双書目録 豊島区立豊島図書館所蔵
編者 昭和43 229p 25cm 膳(UP52—1)
同館所蔵の全集講座類780タイトル、内容細目11,056タイトルの全集別一覧。文庫本、新書本は除外しているが、範囲はかなり広い。巻末の索引は叢書名だけの索引。

III 全集・叢書索引

9) アチックミュージアム文献索隠編集室

叢書採輯日本古典書目索引 編者 昭和13
205,33p 26cm <文献索隠第3年度特刊>
(025.1—A956s)

個人全集等を除外した「一般的性質を持つ古典を複製した叢書、刊本が広範にゆきわたっている」代表的叢書(複製叢書、岩波文庫を含む)63タイトルの内容細目(約10,200タイトル)の五十音順索引。63タイトルの選定は、日本叢書目録、江戸時代翻刻物索引、国書解題、日本小説年表、各大学図書館蔵書目録等に依拠。

凡例中に叢書一覧を掲げ、巻末に著作者名音別索引、難訓書名索引を備えてある。

10) 尾崎久弥

江戸時代小説脚本浄瑠璃随筆翻刻物索引
春陽堂 昭2 270p 22cm (531—135)
大正15年までに翻刻刊行された叢書(複製叢書を含む)所収作品の分類書名索引の目録。小説、脚本・浄瑠璃・随筆の4編に分け、小説と随筆とはさらにジャンル或いは内容にわけてある。附録、書名索引(小説、随筆)を巻末に付す。

11) 広瀬 敏

日本叢書索引 東京武蔵野書院 昭和14
573,96p 22cm (080.39—H566n)

明治以降、昭和5年までに刊行された叢書・全集の細目索引。明治以降の新著述の叢書類を対象とし、記紀以下明治10年頃までの古文献を含む叢書約700タイトル余(うち、写本叢書は約70タイトル)を択んで、約28,000タイトルの細目を五十音順に収録。本文の前に「叢書目録」(五十音順)「叢書解説」(写本叢書については所在箇所をも記入、難字劃引があり、続く写本索引は巻末付録の「写本目録」(写本叢書の内容細目)の索引である。この「写本目録」は非常に不完全である。

昭和32年の増訂版(風間書房 761p 22cm)
(080.39—H566n—(th))は、昭和5年以降、昭和31年までに刊行された叢書、全集、約100タイトルの細目(約8,000タイトル)を別建てで増補し、旧版については若干の訂正(例えば旧版の読み方の訂正、「叢書索引」中の所収叢書名への巻序数の記入等)を行っている。ただし、「写本索引」、「写本目録」を著者はその不完全を認めて省略した。

昭和44年名著刊行会刊の同上増訂版の複製では故人となった著者の意志を無視して「写本索引」、「写本目録」を復活させた。
(UP52—1)

12) 矢島文亮

叢書講座全集論集 502 種分類索引 文科教育
系 仙台 日本文献学会 昭和33 270p
25cm 膳 (080.39—N684R)

明治以降、昭和31年迄に刊行された叢書・全集・講座・論集(502タイトル)の分類(日本十進分類法)索引。「題目索引」と称し、書名および論文名など約6,000タイトル余を収む。特に論文索引の余り発達していない文科教育系分野を対象にしている。

巻頭に、採録叢書の「採用書名表」(五十音順)がある。

13) 矢島玄亮

日本双書二四七種書名索引 仙台 東北大学
川内東分校図書館 昭和33 122p 25cm
膳 (027—Y142n)

広瀬敏の『日本叢書索引』(昭和14)につ
づけて昭和31年11月までに刊行された明治以
前著作を対象とした叢書247タイトルの細目
(7,500タイトル)の索引(五十音順)。

巻頭に叢書名一覧(五十音順)がある。
『増訂日本叢書索引』(昭和32)との叢書重複
は約60タイトル。

14) 渡辺 茂

増訂綜合史料索引 小宮山書店 昭和34
606p 25cm 膳 (210.08—W78s—(th))

明治初年より昭和32年末までに刊行された
史料関係叢書類(全集・文庫等も含む)652タ
イトル(小叢書を加えると約1,000タイトル)
を対象にしており、収録史料の時代範囲は、
古代より明治20年迄としている。

「史料関係叢書類総目録」と「史料索引」と
より成り、前者には、叢書名の「略称索引」、
「叢書名索引」(五十音順)、「叢書類目録」(叢
書毎の内容一覧)を含め、後者は、上記史料
叢書の内容細目、約33,000タイトルを、細目
(史料)名の頭の漢字の正しい読み方にとら
われず、頻度数の最も多い読み方で集め、そ
の五十音順に排列している。(例えば、女に
始まる書名は一括して「おんな」の項に入れ
る。)

巻頭に「史料頭字音訓索引」、「難頭字総画
索引」がある。

IV 全集・叢書目録

この作業に伴って、全集・叢書の刊行、冊
数を知る必要のある時がしばしばあるので、
全集・叢書の書名目録をあげることとする。
部分的に細目を掲示したもののあることに留
意してほしい。

15) 垂水延秀

日本叢書年表 大阪 間宮書店 昭和5
205p 23cm

建暦3年より昭和5年までに刊行された叢
書(約3,000タイトル)の編年体による目録。
大半は叢書名を列挙するのみで、極く少数の
ものに内容細目を掲出している。

以上の主篇に対し、従篇には、別に写本そ
の他年代不詳のもの、約400タイトル(五十
音順)を収録し、それぞれの所在、または出
典を記している。

索引には収録叢書の「分類索引」(日本十進
分類法に準拠)、「書名索引」(叢書の五十音
順)とが巻末にある。

16) 川島五三郎

叢書全集価格総覧 明治初年—昭和16年
六甲書房 昭和17 196, 62p 13×19cm
(R080.3—Ka97b)

叢書、全集および重冊書(『静岡市史』全5巻
等)の約4,000タイトルの一覧(五十音順)。
細目の掲出はない。

17) 日販通信編集部

戦後十年全集総目録 日本出版販売株式会社
昭和30 44p 21cm (080.31—N688s)

書店別(五十音順)の全集(講座、シリー
ズなど広範囲)総目録。約800タイトルを収
録しているが、内容細目の一覧はない。

18) 日販通信編集部

全集総目録 全集・選集・講座 昭和31年版
日本出版販売株式会社 昭和31 104p
21cm (080.31—N688z)

『戦後十年全集総目録』(昭和30)の続篇で、
それに含まれる叢書をも包括した目録。タイ
トル数は約1,400。

19) 川島五三郎・八木敏夫

全集叢書総覧(四訂版) 八木書店 昭和40
552p 19cm (080.31—Ka936z—(s))

明治初年～昭和39年に刊行された全集、叢

書およびこれに類するもの(『秋田県史』全2冊等), 約9,800タイトルの五十音順による一覧(定価付)で, 内容細目の記載はない。編集事情により, 編集完了後(ほぼ昭和39年頃)の発見物は, 各項に追録として別建てで付している。

付録に, 大日本史料, 大日本古文書, 日本史籍協会叢書, 国書刊行会叢書, 稀書複製会刊行書, 史籍集覧・尊経閣叢刊, 古典保存会複製叢書, 日本古典全集, 現代日本文学全集, 世界文学全集等25タイトルを採んだ「特殊全集叢書内容一覧」がある。

なお, 「同総覧」は昭和16年に初版を, 戦後は昭和22年に増訂第一回を刊行し, 四訂版に至った。

20) 富山県立図書館

富山県内公共図書館所蔵全集叢書総合目録

編者 昭和41 69p 25cm 昭和40年5月31日現在 (027—T05892t)

富山県下23公共図書館所蔵の叢書・全集・講座類1,854タイトルの総合目録。内容細目の掲出はない。

21) 出版年鑑編集部

全集総合目録 '67 出版ニュース社 昭和42 379p 19cm (027—Sy998z2—(s))

昭和37年版の同目録(出版ニュース社編集部編(027—Sy998z2))をもとに再編成したものの。

戦後(昭和21年以降)の継続出版物に含まれる全集, 選集, 講座, 著作集, 大系, シリーズ, 叢書等の巻数ものを, 昭和42年1月現在で網羅的に集め, 約3,500タイトルを収録。日本十進分類法に依拠して分類し, 最近10年以内に初巻が刊行されたものについてのみ, 叢書毎に内容を示している。巻頭に「全集出版の傾向 一戦後21年のあゆみ—」, 巻末に「掲載発行所名簿」, および「索引」を付す。「索引」は収録の継続出版物の書名索引(五十音

順)。

22) 神戸市外国語大学図書館
叢書目録 神戸 編者〔昭和44〕 83p
26cm (UP18—1)

同館蔵の和・洋の叢書の一覧。細目の記載はない。

以上, 掲示した全目録を, 把握しやすいように刊行順に列記し, 明細目録をA, 索引目録をB, 叢書名のみ目録をCと区別してみた。番号は, 前述の解説と対応できるようにした。

- | | | |
|---------------------------|---------|---|
| 1) 第四高等学校和漢書細目 | 大12 | A |
| 2) 国書解題下巻附録 | 大15 | A |
| 2) 日本叢書目録 | 昭2 | A |
| 10) 江戸時代小説・脚本・浄瑠璃・随筆・翻刻索引 | 昭2 | B |
| 15) 日本叢書年表 | 昭5 | C |
| 3) 叢書全集書目 5冊 | 昭6~11 | A |
| 9) 叢書採輯日本古典書目索引 | 昭13 | B |
| 11) 日本叢書索引 | 昭14 | B |
| 16) 叢書全集価格総覧 | 昭17 | C |
| 4) 全集叢書巻別書名事典 | 昭25 | A |
| 6) 綜合史料目録 | 昭29 | A |
| 17) 戦後十年全集総目録 | 昭30 | C |
| 18) 全集総目録 | 昭31 | C |
| 5) 国史文献解説 正統 | 昭32~40A | |
| 11) 日本叢書索引 | 昭32 | B |
| 12) 叢書講座全集論集502種分類索引 | 昭33 | B |
| 13) 日本双書二四七種書名索引 | 昭33 | B |
| 14) 増訂綜合史料索引 | 昭34 | B |
| 7) 全集叢書目録(「世界名著大辞典」第6巻) | 昭36 | A |
| 19) 全集叢書総覧(四訂版) | 昭40 | C |
| 20) 富山県内公共図書館所蔵全集叢書総合目録 | 昭41 | C |
| 21) 全集総合目録 | 昭42 | C |
| 2) 増訂国書解題下巻附録 | 昭43 | A |
| 8) 全集叢書目録(豊島区立図) | 昭43 | A |
| 22) 叢書目録 | 昭44 | C |
| 11) 日本叢書索引 | 昭44 | B |

V その他

全集・叢書に含めるかどうか、問題があるが、参考のため、全書、新書、文庫類の目録を掲げておこう。

△ 出版年鑑編集部

新書・全書総合目録—軽装版・ペーパーバックのすべて— 出版ニュース社 昭和39
451 p 18cm (027—Sy998s)

昭和39年9月現在の新書・全書、約200タイトル(収録出版社116社)の登載書(約8,200タイトルの新書・全書別一覧(五十音順)。

巻末に「掲載発行所名簿」,「新書・全書名索引」,「発行所別新書・全書名索引」(いずれも五十音順)がある。

△ 森 浩太郎

便利な文庫の総目録 1970 文庫の会(日販ビル内) 昭和44 21cm (025.1—B71)

昭和44年7月末までに刊行された17社の文庫本の総目録。

前半は、特に岩波・旺文社・角川・新潮の各文庫の著作者別(日本・外国・その他)索引(五十音順)。

後半に上記4社以外の13社の文庫毎=「出版社別索引」,「出典表」(高校教科書の現代国語所収作品の出典調査表)、「書名作品名索引」,および「著作者名索引」を付す。

△ 総合文庫目録刊行会

総合文庫目録 1970年版 編者(東販ビル内) 昭和44 224 p 21cm (025.1—So626s)

昭和44年6月上旬までに刊行,または刊行予定の青木・岩波・角川等15文庫本の書名目録(五十音順)。

五十音毎に、更に日本文学、外国文学、思想・歴史・社会科学その他の三種に分類排列し、含まれる文庫名を記す。ただし、書名に採用されているもののみで、含まれる短篇の分出しはしていない。

巻末に「著者名索引」(日本・外国別)を付す。

VI おわりに

以上のほか、明治以前成立本については、岩波書店「国書総目録」全8巻、既刊7冊(025.1—Ko5482)が、各項末に所収の全集・叢書名(ただし活版)を付しており、「叢書索引」の機能を果している。それに対応して最終巻である第8巻に写本・版本・活字本の叢書目録を収載する予定といわれる。4)

また、クイック・レファレンス向きではないが、部門別・専門別の全集叢書目録、大学・研究機関等の蔵書目録、専門書誌、あるいは、比較的書名を多く収録した事典(「日本文学大辞典」,「日本歴史大事典」等)さらに「大日本仏教全書」,「名古屋叢書」などの如き一書の索引も、検索ツールとして利用し得るものであることを付記しておく。

注

- 1) 定義については、“A. L. A. glossary of library terms” (1943) <Collected Works>, <Series>, <Library>の項をも参照
- 2) 『日本目録規則』1965年版 2(2)b, 43(1), 77, 136, 139 参照
- 3) 宮坂逸郎「国立国会図書館と漢書閲覧目録の沿革一覚書」(『図書館研究シリーズ』No. 1 (1960.3)) 参照
ただし、同時代のものでも『国立国会図書館蔵書目録昭23—昭和33』の「書名索引」編に『日本叢書索引』所収以外の叢書について細目を含めている例、および国立国会図書館支部図書館部編『官庁刊行物総合目録』(全8冊 昭和27—35)の完全な分出入の例があることは周知のとおりである。
- 4) 『国書総目録』第1巻巻頭「編纂の辞」参照(ざわにし・よしこ: 参考書誌部人文課主査)